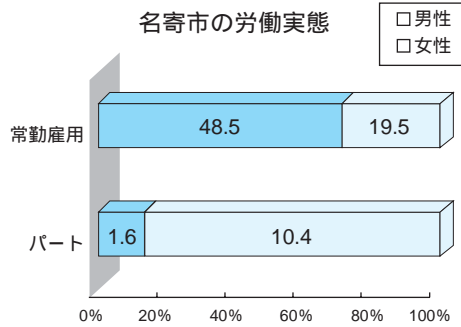


男女共同参画社会の実現をめざして

名寄市男女共同参画実態調査から

名寄市では、男女共同参画推進の取り組みの一環として、人口の男女比率や家族構成、労働状態など、全国との比較や推移を記載した実態調査を発行しました。本調査書は名寄市庁舎、風連庁舎、図書館で閲覧することができます。また、市ホームページにも掲載していますのでご覧ください。



平成20年3月に行った「名寄市の労働実態」からは、男性の常勤雇用の割合は48.5%に対して、女性の割合は19.5%となっており、常勤雇用は男性の方が多い状況となっています。しかし、パート労働者においては、男性が1.6%に対して、女性が10.4%と女性の割合が多く、結婚や出産によって退職を余儀なくされている状況や家事・育児をしながら働く女性が増えていることがわかります。さらに、各種休暇制度の有無については、産前産後休暇制度が無い事業所が50%、育児休業制度が無い事業所が55.7%となっており、法的整備が進んでいても事業所では浸透されていないことが明らかになりました。

また、各種休暇制度が整備されても、女性が多数を占めるパート労働者がこれらの制度を実際に取得できるとは限りません。男性も同様に、常勤雇用であっても職場で理解を得られなければ、育児休業を取得しづらい状況が

生まれてくると思われます。現在、政府が少子化対策の観点から推進している「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」では、二〇一七年に年次有給休暇の取得率を一〇〇%、第1子出産前後の女性の継続就業率を55%の数値目標に設定しているものの、事業所において経営を考えたときにそれらが実現されるかどうかという課題も残ります。

一方、東京大学では育児などで女性が退職するのを減らし、男性も積極的に家庭に関われるよう、「午後5時以降の公的な会議は原則行わない」という男女共同参画加速のための宣言を出しました。

まず意識を持つことが重要とし、昼食の会議やスピードアップで工夫を図っていくこととしていきます。市役所においても国が導入している早出遅出勤務制度を設け、育児または介護を行なう職員の職業生活と家庭生活の両立を支援することとしています。

男女共同参画社会の実現のためには、経済的な問題や個々人の意識など、あらゆる課題が山積しておりありますが、単なる制度の整備だけではなく、現状と課題を明らかにしながら男女共同参画の推進を図っていく必要があります。

中川町



天塩川だより

オートキャンプ場がオープンします

ゆったりとした天塩川の流れと深緑の里山に見守られているかのような、豊かな自然と充実した設備が自慢のオートキャンプ場です。初心者でも楽しめるカヌー体験や、化石のレブリカづくりなどの体験メニューも用意しています。

また、隣接する公共温泉施設「ポンピラアクアリズイング」でゆったりとくつろぐこともできます。

・とき 6月1日(月)～10月4日(日) 利用予約は、5月1日(金)から受付開始

・ところ オートキャンプ場「ナポートパーク」

問い合わせ オートキャンプ場「ナポートパーク」

01656 2680 FAX01656 2680